

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月17日			記入者	
部 名	保健福祉部	課 名	高齢者福祉課	連絡先	2626
事務事業名	敬老訪問事業				
予算上の事務事業名	敬老訪問事業				
1 総合計画における位置づけ				施策コード	11220
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				事業開始年度
施策名	第2施策 高齢者の社会参加と生きがづくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
実施要綱を作成し実施					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	第2期相模原市高齢者保健福祉計画			高齢化が進む中で高齢者が住み慣れた地域で健康で安心して生活できるよう施策等の展開を計画するもの。	
計画年次	15	年度～	19	年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
長寿を祝うとともに多年にわたり社会に寄与されたことに感謝しその労をねぎらう。				9月15日現在100歳以上の市民で訪問を希望する方	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
百歳以上高齢者を住基情報により検索し、訪問希望の有無を確認の上、市の幹部職員 (原則として市長) が訪問した。訪問日 9月12日・13日・14日 対象者67人中、訪問希望者24人を訪問した。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
99歳、100歳、100歳以上等、実施年齢の違いはあるが、市長等が敬老訪問をしている状況が他市にもある。					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	83	106	175	288	362
一般財源	83	106	175	288	362
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	362	430	460	493	526
事業コスト合計	445	536	635	781	888
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	敬老訪問事業			対象名称と単位	百歳以上高齢者数 (人)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	445	536	635	781	888
対象数	48	58	67	75	80
単位あたり経費(円)	9,271	9,241	9,478	10,413	11,100
前年度比		1.00	1.03	1.10	1.07

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	訪問希望率（%）	指標式と指標の説明	訪問希望者数／対象者数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	10.0	24.0	24.0		
目標	48.0	58.0	67.0	75.0	80.0
目標達成度（%）	20.8	41.4	35.8		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	訪問率（%）	指標式と指標の説明	訪問者数／訪問希望者数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	10.0	24.0	24.0		
目標	10.0	24.0	24.0	75.0	80.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市の幹部が、100歳以上の長寿者を訪問し、長寿をお祝いするとともに多年にわたる社会貢献に対する感謝の意を表しその労をねぎらうことにより本人や他の高齢者への励みとなるため継続すべきと考える。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
対象者が増加している中で、訪問希望者も増加傾向にある。長寿者がいきいきと生活する中での節目として、年に一度ではあるが長寿のお祝いに伺うことでたいへん喜んでいただいている。市幹部職員が手分で訪問をすることにより希望者に対応する。			対象者の増加・施設入所者の増加により訪問日程の調整が難しくなっている。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			